

7

およ つか はくちょう みなとまち
泳ぎ疲れて白鳥は、港町までやってきた。

かのじょ い さき くら まち まち まち
いったい彼女の行きつく先はただ暗い町、町、町。

なか いっけんあか ちい みせ
そんな中に、たった一軒灯りがついた小さなお店。

ふるるれ、ふるるれ、りゅうせいぐん。

はくちょう ひ
おどれ、白鳥、スリーパーダに陽がのぼるまで。

びん なか と しちけん ふか まほう
瓶の中から飛びだすは、七賢たちより深い魔法。

ルージュ！ ノワール！ ジョーヌ！ ブラン！

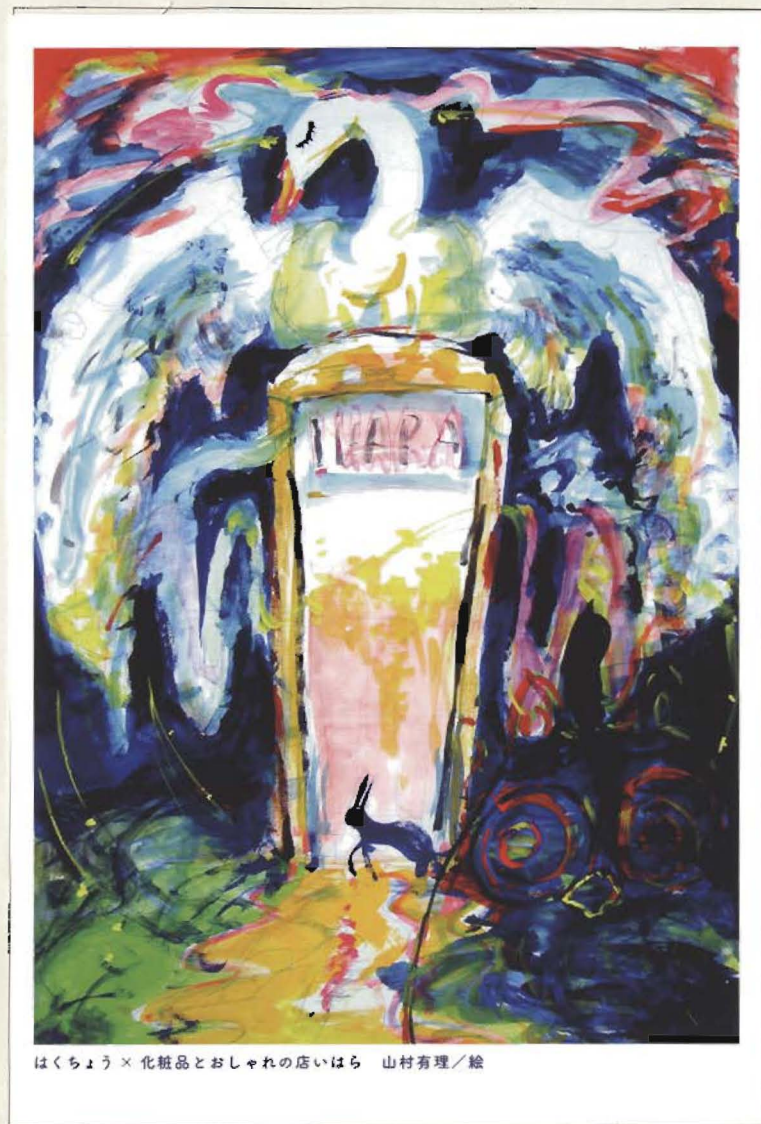
よる パヒュウム きぼう はい じるし けしょうすい
夜のかおりの香水と、希望の入ったクリムに、フクロウ印の化粧水。

さくらいろ くちべに マドモアゼル
桜色した口紅をつけてしまえば御嬢様。

び
あたかもそこは、美にとらわれしミノダウロスのラビュリントス。

よ あ しゅっぱつ
さあさ、夜明けだ。出発だ。

ねこ あいず
猫のあくびが合図だよ。



はくちょう × 化粧品とおしゃれの店いはら 山村有理/絵

(はくちょう × 化粧品とおしゃれの店いはら 鈴木遼/作)

